

ゴムシート防水材専用下塗り材(水系アクリルエマルジョン系プライマー)

# タケシールゴムシートプライマー 業務用

水系低臭で、作業性に優れ水系保護化粧材とゴム系シート防水材との密着性良くする為に開発されました下塗り材です。

- 用途 ○ゴム系シート防水材専用下塗り材  
荷姿 ○15kg缶  
塗布量 ○1缶当たり 100m<sup>2</sup> (0.15kg/m<sup>2</sup>として)  
乾燥時間 ○晴天時気温25℃の場合、約30～60分  
施工要領
1. 既存ゴムシート防水材の表面を十分に清掃します。汚れの酷い場合は、洗浄します。油分などある場合は洗剤にて洗浄します。
  2. 十分に乾かしてください。
  3. 既存ゴムシート面に1回当たり(0.15kg/m<sup>2</sup>)の塗布量で溜まりが発生しないよう注意しながら、ローラーですり込む様に塗布します。
  4. 下塗り材の硬化後、水系保護化粧材を塗布します。

## 注意事項


- ・ 下地ゴムシート面に、脆く浮いた旧塗膜がある場合は取り除いてください。
- ・ 表面の汚れが酷い場合や、新設のゴムシートで表面にワックス(油分)分などが付着している場合は、中性洗剤にてデッキブラシなどを用いて洗浄します。
- ・ 夏季気温が高く、下地温度が40℃を超える場合塗りにくくなる場合があります。塗りにくい場合は、10%以内で清水を加え混合後塗布願います。
- ・ 冬季気温が10℃以下の場合は、使用しないでください。
- ・ 降雨が予想される場合は、施工しないでください。
- ・ 河川への流出を避けてください。
- ・ 取り扱い中は、保護メガネ、保護手袋等を着用してください。
- ・ 内容物がこぼれた場合には、布で拭き取り汚染した布は産業廃棄物として処分してください。
- ・ 廃缶の処理は、内容物を使いきってから適切な施設にて処分してください。内容物の処理は、適切な施設にて産業廃棄物として処分してください。
- ・ 貯蔵は必ずフタをし、直射日光を避け冷暗室にて保管してください。
- ・ 子供の手の届かない場所に保管ください。

## 応急処置

- ・ 眼に入った場合は、直ちに大量の清水で15分以上洗浄後医師の処置を受けてください。
- ・ 皮膚に付着した場合は、速やかに洗剤と清水にて洗い落とし、傷みや外観に変化のある場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ 誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。

※詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

タケシール製造元

 竹林化学工業株式会社

東大阪市渋川町3-1-43 TEL06-6721-6165